

夜景の街、函館を代表する観光スポットであり、国から重要文化財の指定を受けている「旧函館区公会堂」が、ライトアップ用照明器具を LED 器具にリニューアル。照明改修に先立って行われた建物の保存修理工事により装い新たに
なった外観の美しさを、より消費電力を抑えながら、より明るく際立たせています。

函館山の麓に建つ旧函館区公会堂は、1910 年（明治 43 年）に開堂された函館を代表するコロニアル風の西洋建築物で、1971 年に北海道の有形文化財に、1974 年に国の重要文化財に指定されました。建築当時の姿が復元された一度目の解体改修を経て、1983 年より一般公開。明治の社交界の華やかさを感じられる歴史スポットとして、現在では函館でも有数の観光名所となっています。



【物件概要】
所在地：北海道函館市元町 11 番 13 号
規模・構造：木造
敷地面積：7,631.10 ㎡
延床面積：1,900.12 ㎡
施主：函館市
施工：電気／㈱電気企画工業
リニューアル完成：2021 年 10 月



建物正面からのライトアップ風景 既存器具に換えて3000KのLED小形投光器①を計10台採用。バルコニーや柱の影までが外壁の美しさに調和。

ライトアップ照明器具をLED小形投光器にリニューアルし、CO₂排出量を約80%削減。

旧函館区公会堂では、2018年より建物の耐震補強を含む二度目の大規模な保存修理工事が実施され、青灰色と黄色のコントラストが鮮やかな外観がよみがえりました。老朽化が進んでいたライトアップ照明器具のLED化は、この修繕工事の数年前から検討されてきましたが、2021年春のリニューアルオープンから半年後の2021年秋に実施されました。
既存のライトアップは、建物正面のメタルハライドランプ器具（400W形6台と250W形2台）と、建物左右に配置された高演色形高圧ナトリウムラ

ンプ器具によるものでしたが、すべての器具が電球色の8,000lmクラス150W形コンパクトメタルハライドランプ器具/250W形水銀ランプ器具相当の明るさのLED小形投光器にリニューアルされました。
点灯時間は日没から午後10時まで。美しい夜の函館の魅力アップに貢献しています。函館市からは、このLED化により既存に比べて消費電力およびCO₂排出量を約8割減らすことができ、ランプ交換などのメンテナンス代も含め、10年間で約150万円の節約につながると期待されています。



既存器具位置に置き換えた重耐塩形のLED小形投光器①

主な掲載器具一覧					
設置場所	器 具 名（品種名）		形 名	台数	備考
屋外	① LED 小形投光器 8,000lm クラス重耐塩形 中角タイプ		LEDS-08907LM-LS9	10	消費電力：69.0W（200/242V）



建物左側からのライトアップ風景（左：既存器具によるライトアップ／右：LED投光器①によるライトアップ）



建物右側からのライトアップ風景（左：既存器具によるライトアップ／右：LED投光器①によるライトアップ）



元町公園側からのライトアップ風景 旧公会堂前に広がる元町公園、ベリー広場側からの美しい眺め。



器具設置状況 前庭をはさんだ道路側に計10台のLED小形投光器①を設置。